

## 「造血器疾患患者の転倒要因調査」について

平成 28 年 6 月 15 日

### 【はじめに】

転倒は入院患者さんにとって主要な問題点のひとつであり、外科や緩和ケア科において転倒要因については明らかとされていますが、造血器疾患の患者さんにおいてはあまり明らかとされていません。そこで、東京大学医科学研究所附属病院の診療情報を用いて、造血器疾患の患者さんの転倒要因を後方視的に解析することで、転倒予防に貢献することを目的とした研究を実施することにしました。なお、この研究は東京大学医科学研究所倫理委員会の承認を得て所長・病院長の許可を受けて実施されます。

### 【方法】

東京大学医科学研究所附属病院 7 階病棟に入院されていた患者さんの転倒の有無を調査し、1 回以上転倒された方については転倒時点の診療情報データを集積して、転倒要因を明らかにします。

### 【対象となる患者様とご協力いただきたいこと】

東京大学医科学研究所附属病院 7 階病棟において 2013 年 4 月から 2016 年 3 月までの間に入院されていた患者さんを対象としています。ご協力いただきたいことは、該当する患者さんの 2016 年 3 月末までの診療情報を本研究に使わせていただくことです。

### 【個人情報保護の方法】

診療情報を使わせていただくにあたっては、直接患者さんを識別できないような登録番号を用います（連結可能匿名化）。登録番号と個人情報の対応関係を記した表（対応表）は看護部の鍵のかかる保管庫にて厳重に管理します。

### 【研究参加による利益・不利益】

利益・・・本調査に参加いただいた患者さん個人には特に利益と考えられるようなことはありませんが、研究結果が今後の看護の発展につながる可能性があります。

不利益・・・保存されている診療情報のみを用いるためご負担をおかけすることはありません。

### 【研究参加の辞退について】

本研究にご自身の診療情報が使用されることを辞退されたい場合には、下記[問い合わせ窓口]までご連絡ください。辞退の連絡を受けた場合、それ以降、患者さんの診療情報を本研究に用いることはなく、辞退によって患者さんが不利益を被ることはありません。しかしながら、辞退のご連絡を受けた時に、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は結果を廃棄できない場合もありま

すことをご了承ください。

**【研究成果の公表について】**

研究成果が学術目的のために論文や学会で公表されることがありますが、その場合も、患者さんの個人情報には厳重に守られますので、第三者に患者さんの個人情報が明らかになることはありません。

**【研究終了後の情報・データの取り扱い】**

研究終了後、個人情報を記載した対応表は、研究責任者が3年間保存した後、シュレッダーにて廃棄します。

なお、研究成果が公表された場合には、他の研究者による研究成果の検証可能性を確保するため、東京大学医科学研究所で定められた「東京大学医科学研究所生命科学系研究データ保存のガイドライン」に則り、発表後も情報やデータを東京大学医科学研究所に長期間保存させていただくことをご了承ください。

**【問い合わせ窓口】**

この研究についての質問やご自身のデータが本研究に用いられているかどうかをお知りになりたい場合、あるいは、本研究への診療情報の使用について辞退されたい場合など、この研究プロジェクトに関することは、下記の窓口までお問い合わせ下さい。また、本研究について詳しくお知りになりたい場合には、研究計画書等の資料をご覧いただけますので（但し、他の対象者等の個人情報や知的財産の保護等に支障がない範囲内で）、下記までご連絡ください。

東京大学医科学研究所附属病院

7階病棟

三輪依子

〒108-8639

東京都港区白金台 4-6-1

TEL:03-3443-8111

FAX:03-5449-5429

E-mail: yorikomiwa-tky@umin.ac.jp